

平成28年度事業実施結果

団 体 名	鎌ヶ谷災害救援ボランティアネットワーク	担 当 課	安全対策課
事 業 名 称	街歩きを通じた、地域防災啓発活動		
概 要	<p>東日本大地震、昨今の豪雨災害等を教訓にすると、そこに暮らす住民一人ひとりの防災に関する知識が求められています。しかし、自らが暮らす地域について具体的な知識持ち、日頃から対応を考えている住民は少ないという問題点が挙げられます。</p> <p>この問題を解決するために、住民一人ひとりが地域の防災に関する知識を持つ切っ掛けを作る必要があります。</p> <p>そこで、自らが暮らす街を歩き、そこにどのような危険があるのか、その危険に対応するには、どのようにすれば良いのかを実際に体験してもらうことにより、防災に関する知識、関心を持ってもらう切っ掛け作りを行いたいと考えます。</p> <p>具体的には、市を幾つかの地域に分け(避難所となっている小中学校等を中心にした地域等)、地域ごとに街歩きのコースを設定します。</p> <p>そして、街歩きの参加者(基本的にその地域住民を想定)を公募し、そのコース上の危険箇所や防災に対して有効と思われる場所等、街の特徴を確認しながら歩き、地震や大雨等の災害時にどのように行動すれば良いのかを考えて頂くと共に、知識として持って頂く活動です。</p> <p>街歩きの進め方については、地域の公民館等をスタート地点とし、スタート前に災害、防災についてのレクチャーを30分程度行います。その後に街歩きをスタートし、街の状況を確認すると共に、必要な知識を得てもらうために説明を行いながら歩きます。昼食を災害時実際の避難場所となる学校の体育館等でとり、そこでは、避難を行った時には、どのように行動すれば良いのかの説明を併せて行います。</p> <p>その後、街歩きの後半を行い、スタート地点である公民館等に戻り当日のまとめを行います。</p> <p>来年度の事業としては、3回程度の実施が可能と考えていますが、最低6回は、行わないと市内全域をカバーできないと思われます。</p> <p>尚、本事業は、街歩きを通じての活動を行うため、長年に渡って鎌ヶ谷市を紹介する街歩きを企画する活動を行っているボランティア団体“ぶらり鎌ヶ谷”とコラボレーションし、本事業を企画、実行することとしました。</p>		

本事業は、「防災に関心がない人」を対象に、自らが暮らす街を歩き、そこにどのような危険があるのか、その危険に対応するには、どのようにすれば良いのかを実際に体験してもらうことにより、防災に関する知識、関心を持ってもらう切っ掛け作りとして平成28年度には2回実施しました。

参加した人からは「防災の知識が身に付いた」「防災について考える良い機会となった」などの意見をいただき、日頃気にしていない周辺の道路や施設には何があり、災害時にどのように使われるのか、そのような知識を持っていただけたことは評価できると考えます。

しかしながら、事業内容自体は非常に有効性の高い内容のものであるのに、事業対象としていた「防災に関心がない方」の参加が伸び悩んでしまった面があるため、今後は他のイベント(防災を目的としない人の集まるイベント)とコラボレーションし、そのイベントの中で防災の大切さを盛り込む活動を行なう形態とすることとしました。現在、企画中の「ぶらり鎌ヶ谷」の21回目のイベントの中に、防災についての知識を盛り込む形で準備中である。この「参加者をいかに集めるか」は、防災に関するイベントを行う上で大きな課題であり、この事がはっきりとわかったことは、大きな成果だと思います。

また、この事業を実施するにあたっては、2つ市民団体と市がそれぞれの長所を出し合って実施した事業であり、「コース案はぶらり鎌ヶ谷が原案を出す」、「防災についての中身は、下見を行った後、鎌ヶ谷災害救援ネットワークが案を出す」、「行政は、コース上の公共施設の手配を行う」。「総合的な資料については、持ち寄った防災、ウォーキングの為の資料をぶらり鎌ヶ谷がまとめる」、といったお互いがお互いの活動内容を認識することで、団体と行政及び、団体同士の協働の先例となる活動ができ、違う活動を行っている団体が、一つの目的の為にその団体の持つノウハウを出し合い活動したことは、防災以外の活動においても良き先例となると考えます。

成
果
及
び
協
働
の
効
果